

1. 議事日程（7日目）

（平成26年那智勝浦町議会第1回定例会）

平成26年3月20日

9時開議

於議場

日程第1	議案第43号	下里保育所遊戯室新築工事請負契約の変更について……………	342
日程第2	議案第44号	太田川取水・浄水施設築造（取水施設）工事請負契約の変更について……………	342
日程第3	議案第45号	太田川取水・浄水施設築造（建築施設）工事請負契約について……………	344
日程第4	議案第40号	町道の路線変更について（建設常任委員会継続審査要求）……………	345
日程第5	常任委員会報告……………		345
日程第6	委員会所管事務調査継続調査要求……………		353
日程第7	閉会中の継続調査要求……………		354
日程第8	議員派遣について……………		354

2. 出席議員は次のとおりである。（12名）

1番	左近 誠	2番	荒尾 典男
3番	下崎 弘通	4番	森本 隆夫
5番	蜷川 勝彦	6番	湊谷 幸三
7番	田中 幸子	8番	東 信介
9番	松岡 大輔	10番	山縣 弘明
11番	中岩 和子	12番	引地 稔治

3. 地方自治法第121条第1項により説明のため出席した者の職氏名（15名）

副町長	植地 篤延	教育長	森 崇
消防長	中嶋 秀和	参事 （総務課長）	藪本 活英
総務課新病院 建設推進室長	浪花 潔	会計管理者	久原 章功
病院事務長	八木 敦哉	税務課長	城本 和男
住民課長	玉井 弘史	福祉課長	福居 和之
観光産業課長	松下 安孝	建設課長	橋本 典幸
水道課長	藪根 敏夫	教育次長	瀧本 雄之
総務課副課長	矢熊 義人		

4. 職務のため議場に出席した事務局職員の職氏名（3名）

事務局長	伊藤 善之
事務局主査	寺地 強
事務局副主査	脇地 健

~~~~~ ○ ~~~~~

9時00分 開議

〔4番森本隆夫議長席に着く〕

○議長（森本隆夫君） おはようございます。

ただいまから再開します。

本日の会議を開きます。

本日の日程は、お手元に配付のとおりです。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第1 議案第43号 下里保育所遊戯室新築工事請負契約の変更について

○議長（森本隆夫君） 日程第1、議案第43号下里保育所遊戯室新築工事請負契約の変更についてを議題とします。

提案理由の説明を求めます。

建設課長橋本君。

○建設課長（橋本典幸君） 議案第43号につきまして御説明申し上げます。

〔議案第43号朗読〕

増額の主な要因といたしましては、繰り越しに伴います消費税の増額の関係でございます。

なお、工期の変更により完成は5月31日の予定でございます。

以上でございます。どうぞよろしく願いいたします。

○議長（森本隆夫君） 質疑を行います。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 質疑を終結することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 異議なしと認め、質疑を終結します。

討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 討論を終結することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 異議なしと認め、討論を終結します。

採決を行います。

議案第43号について原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 異議なしと認め、本件は原案のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第2 議案第44号 太田川取水・浄水施設築造（取水施設）工事請負契約の変更について

○議長（森本隆夫君） 日程第2、議案第44号太田川取水・浄水施設築造（取水施設）工事請負契約の変更についてを議題とします。

提案理由の説明を求めます。

水道課長藪根君。

○水道課長（藪根敏夫君） 議案第44号について御説明申し上げます。

〔議案第44号朗読〕

今回の工事請負契約の変更につきましては、平成26年4月1日より施行の消費税率の変更に伴い変更契約を行うものでございます。

なお、本工事につきましては、平成26年度への繰り越しを予定しております。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○議長（森本隆夫君） 質疑を行います。

10番山縣君。

○10番（山縣弘明君） お伺いいたします。

この指名競争入札に際しましては、どういった業者が指名の対象となり、それから、そのうち入札に応じられたのはどんなところなのかというのはお聞かせ……。

聞けないですか。

〔「変更やで」と呼ぶ者あり〕

ああ、そうかそうか、ごめんなさい。

そしたら、その変更についてであります、失礼しました、当初からこの消費税の税率アップというのは見込まれていてもおかしくなかったのではないかなと思いますが、その点についてはいかがでしょうか。

○議長（森本隆夫君） 水道課長藪根君。

○水道課長（藪根敏夫君） お答えします。

消費税増税については見込んでおりましたけれども、当初入札が、11月28日に入札を行いました。3月までの間がありますので、一応この3月議会において消費税増税の分の補正をお願いしたいと思ひまして、あ、補正じゃなしに、消費税分につきましては工事金差額で賄っておりますので、ですから変更ということをお願いしたいと思ひます。よろしくお願いいたします。

○議長（森本隆夫君） ほかに質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 質疑を終結することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 異議なしと認め、質疑を終結します。

討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 討論を終結することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 異議なしと認め、討論を終結します。

採決を行います。

議案第44号について原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 異議なしと認め、本件は原案のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第3 議案第45号 太田川取水・浄水施設築造（建築施設）工事請負契約について

○議長（森本隆夫君） 日程第3、議案第45号太田川取水・浄水施設築造（建築施設）工事請負契約についてを議題とします。

提案理由の説明を求めます。

水道課長藪根君。

○水道課長（藪根敏夫君） 議案第45号について御説明申し上げます。

〔議案第45号朗読〕

次のページをお願いします。

入札執行調書でございます。

本会議において補正を承認いただき、3月18日に指名業者12社で入札を行い、株式会社保田組が落札いたしました。契約額4億5,790万9,200円で、うち簡易水道事業分7,006万100円、水道事業費分3億8,784万9,100円でございます。請負率91.9%。

工事概要につきましては、太田川浄水場管理棟建設工事でございます。工事期間は平成26年3月31日となっております。

なお、本工事につきましては、平成26年度へ繰り越しを予定しております。

以上でございます。よろしくお願いいたします。

○議長（森本隆夫君） 質疑を行います。

質疑ありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 質疑を終結することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 異議なしと認め、質疑を終結します。

討論を行います。

討論はありませんか。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 討論を終結することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 異議なしと認め、討論を終結します。

採決を行います。

議案第45号について原案のとおり可決することに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 異議なしと認め、本件は原案のとおり可決されました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第4 議案第40号 町道の路線変更について（建設常任委員会継続審査要求）

○議長（森本隆夫君） 日程第4、議案第40号町道の路線変更について（建設常任委員会継続審査要求）を議題といたします。

建設常任委員長から引き続き審査研究を行う必要があるため次の定例会までの継続審査の申し出が議長宛てに届いております。

お諮りします。

委員長から申し出のとおり、次の定例会まで継続審査とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 異議なしと認め、委員長からの申し出のとおり次の定例会までの継続審査とすることに決定しました。

休憩します。

~~~~~ ○ ~~~~~

9時13分 休憩

9時46分 再開

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（森本隆夫君） 再開します。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第5 常任委員会報告

○議長（森本隆夫君） 日程第5、常任委員会報告を行います。

総務常任委員長より報告を求めます。

10番山縣君。

○総務常任委員長（山縣弘明君） それでは、総務常任委員会報告をいたします。

まず、1月29日から31日までの3日間、神戸市、姫路市、伊丹市へ先進地視察に行っていましたので、その御報告から始めさせていただきます。

出席者は、左近、下崎、東、松岡、森本、山縣の各委員と藪本総務課長、中嶋消防長、瀧本教育次長、伊藤議会事務局長の計10名であります。

まず29日、神戸市にある阪神・淡路大震災記念人と防災未来センターに伺い、阪神・淡路大震災の経験や教訓から防災・減災社会の実現のために必要な知識を未来に伝えるための資料や展示物、そして東日本大震災の3D映像「津波の傷跡」などを見せていただき、また、災害対策の専門職員やボランティアの方々のお話を伺いました。

翌30日、午前中は姫路市役所を訪問。姫路市教育委員会学校指導課、小中一貫教育推進係の係長と指導主事より、小中一貫教育が始まった経緯や教育目標、基本方針、定義、推進などに

ついてスライドを交えながら、以下のお話を伺いました。

まず、子供の心身の発育の加速化と現行の学校制度がうまくかみ合っていないのではないか、小学校から中学校へ子供の成長は連続しているのに教える側の意識はうまくつながっていないのではないかということから姫路市の教育改革が始まり、義務教育9年間の指導内容と指導方法に一貫性を持たせることとなった。

小中一貫教育の展開は、小・中学校の教職員による共同実践のもと、義務教育9年間を見通した教育を行い、子供の心身の発育、学習の連続性を重視した取り組みを推進するというもので、導入に当たっての基本姿勢は、新たな取り組みが始まるのではなく、今までの取り組みに小中一貫教育の視点を加え、意図的、計画的、組織的、継続的な取り組みを推進するというものなどの御説明をいただき、導入された2011年当初の動画を見せていただいた後に、発達障害サポートシステムや数年間に及ぶ学校の統廃合の中での御苦勞、学校と家庭と地域の連携事業など、さまざまな質疑応答が交わされました。なお、ことしの10月30日から31日まで、小中一貫教育全国サミット in 姫路が開催されるとのことでした。

30日午後からは神戸市危機管理センターに伺い、防災・減災教育、地域住民の防災力の強化などについて、以下のお話を伺いました。

防災・減災教育では、小・中学生を対象とした防災教育副読本を制作している。地域住民の防災力の強化については、震災以降の自主防災組織として防災福祉コミュニティーという市民組織の中で、日ごろは福祉でいろいろななかかわり合いが持たれ、何かあったときは防災というもので、1年間に700から800人ほどの防災リーダーが育成されている。避難所の指定先や注意事項などやハザードマップが掲載されたリーフレットが毎年6月ごろ各区単位ごとにつくられ全戸に配布されている。要援護者を救うため、明らかな意思表示がなくても情報が受けられ救助もできる条例を制定した。情報の伝達手段についてはラジオ型の防災無線のほか、携帯電話に文字情報が入るひょうご防災ネットを導入しているなどの御説明の後、ビデオを見せていただきました。

翌31日には、伊丹市役所市民自治部まちづくり室の室長と主幹から、伊丹市まちづくり基本条例の制定による参画と協働によるまちづくりの実現について、以下のお話を伺いました。

伊丹市では前市長によりまちづくりの基本理念を掲げた条例をつくるべきとの指示のもと、行政主導から参画と協働への転換を第一義的に掲げ、市民と市がともにパートナーシップを確立し、役割と責任を適切に分担し、補完し合い、協力して積極的にまちづくりに取り組む条例を定められている。市民としては、異なる立場や考え方をお互い理解し合いながら対話を重ね、合意に向けて努力を重ねる熟議が住民自治の実現につながる。参画と協働を進めるために必要な情報共有、学習の機会に向け情報公開制度や防災、スポーツ、環境などの話をする出前講座、また、市民まちづくりプラザや中央公民館、社会福祉協議会のボランティア活動センターの皆さんが求める情報を一元的に取り扱うボランティアかけはしバンク、また、市民による市民活動ラウンドテーブルやパブリックコメントなどを実施しているなどの御説明を伺いました。

以上が視察に関するものでございます。

続きまして、3月14日開会の委員会について、出席委員は森本、左近、下崎、東、松岡委員と私山縣の6名であります。

まず、福祉課の関係から。

平成25年度人権同和教育啓発講演会として1月29日、体育文化会館において「薬物乱用の現状について」をテーマに開催され205名が受講した。

住宅宅地資金貸付事業の関係では、収入済額は686万5,594円で、そのうち現年度分は346万6,317円、滞納分は221万4,356円、繰上償還分は118万4,921円とのことであります。

次に、消防署から。

11月以降の火災は、建物、林野など計5件、昨年4月1日から2月28日までの火災件数は9件とのこと。4月1日から2月28日までの救急出動件数は888件で搬送人員は856名。搬送人員のうち60%が町立病院、35%が新宮市医療センターとのこと。2月18日、消防団第3、第4分団にポンプ車、軽の積載車などが配備された。雪まつりで使用された起震車を使って2月17から18日に勝浦小学校、市野々小学校、下里小学校、中学校で起震体験が実施された。

続きまして、教育委員会の関係。

冒頭、森教育長より着任の御挨拶をいただき、教育の究極の目的は人づくり。学校教育、社会教育全般を通じて那智勝浦町の教育に努力したい旨の御挨拶をいただきました。

学校教育課から。

地域と一体となった宇久井中学校の防災活動が評価され、関西の先進的な地域づくりを表彰するゆめづくりまちづくり奨励賞に選ばれた。なお、今後は宇久井小学校、勝浦小学校、下里小学校、那智中学校でそれぞれ学校ごとに課題を設け研究するとのこと。3月1日現在での児童・生徒数は小学生が695名、中学校が391名で、昨年4月に比べそれぞれ5名増、1名増となっている。和歌山県学力到達度調査が行われ、全体的に県平均を下回っているが、教科によっては上回っているものもあるとのこと。那智中学校校舎新築工事について、進捗率は90%。3月17日に3年生だけ新校舎見学の予定とのこと。遠距離通学補助の変更についての御報告。それから市野々付近での声かけ事象についてなどの御報告がありました。

生涯学習課からは、12月15日にスポーツチャンバラ体験教室が開催、1月3日に成人式が開催、2月16日に開催された市町村対抗駅伝競走に出場、3月11日に那智勝浦町指定文化財として新たに大勝浦の泥ダイヤピル岩体、宇久井の火砕岩岩脈、天満の天津浪記念碑の3件が指定された。現在町指定文化財45件。3月16日、第6回町民舞踊祭が開催。3月21日、体育文化会館にてニュースポーツフェスティバルが開催予定とのことでありました。

続きまして、総務課の関係で、町公有財産売却について、販売価格の値下げをしたが、その効果はなかったとのこと。

ふるさと納税について、3月13日現在、寄附の受け付けは976件1,372万9,144円、寄附金収納済額は942件1,338万9,144円。礼品については寄附額1万円につき送料込みで4,000円にグレードアップさせ、礼品のメニューに海桜鮭、海の生ハム、色川茶セット、太田の新米などを加

え、寄附金額に応じて商品を選択できるようにする。クレジットカードは6月以降に利用できる見込みとのこと。委員からの質問を受け、ツイッターを活用したい、町の封筒への印字を始めたなどの回答がありました。

井関、市野々住宅への入居は13世帯。残る世帯、井関3世帯、市野々6世帯は一般公募とする。紀伊半島大水害の事後対応本部は3月31日で解散し、今後は総務課防災係が対応する。なお、周辺の市町は既に解散しているとのこと。災害記録、防災教育の啓発学習伝承のため那智川流域に県土砂災害啓発センター（仮称）の建設が検討されているとのことでありました。

以上で総務常任委員会の報告を終わります。

○議長（森本隆夫君） 次に、厚生常任委員長より報告を求めます。

6番湊谷君。

○厚生常任委員長（湊谷幸三君） それでは、厚生常任委員会報告を行います。

まず初めに、1月16日に建設常任委員会と合同で大浦地区残土処理場、天満トンネル工事現場、大谷地区残土処理場、井関地区の町営住宅、チスイの残土処理場の5カ所を現地視察いたしました。

続いて、厚生常任委員会を3月14日午前9時半に開会いたしまして、出席者は委員全員と担当課でございます。

所管事務調査、病院の経営状況及び診療体制についてでございますが、昨年12月末で内科の西山医師が退職し、本年1月より吉岡医師が和医大より赴任、看護師1名と事務職1名を採用したとのことであります。また、整形外科の荒川医師が今月末に退職いたします。また看護師1名、理学療法士1名、事務職1名も退職とのことであります。4月1日より整形外科担当で垣田医師を採用、新卒の看護師2名も採用の予定だそうでございます。

2月24日から電子カルテシステムを稼働させておりますが、当分の間、電子カルテと紙カルテを併用し、半年後に紙カルテ運用がなくなるということでございますので、その後はその分、担当の職員の削減が可能となるということでありました。

次に、4月から和医大との遠隔支援システムが稼働いたします。これは和医大の地域医療支援センターにインターネットで診療支援を受けるシステムでございます。

地域医療支援センターより、以前から家庭医療専門医の研修体制を整えてほしいというお話がありまして、山本院長と安藤医師に総合医の資格を取得してもらっております。将来予想される地域医療枠の医師の指導体制を整えているということでございます。

次に、経営状況ですが、入院収益は1月累計で8億1,879万3,276円、前年と比較して5,486万5,271円のプラスとなっております。一方、外来収益は1月累計で5億6,047万7,534円となっており、前年と比較して306万8,745円のマイナスとなっております。1月累計ですが、純利益は3,908万8,291円の赤字でございますが、前年と比較して5,644万9,011円のプラスとなっているということでございます。

次に、環境衛生施設の実態についてでございます。

第4回クリーンセンター関係3地区打ち合わせ会議を2月17日に開催し、現在の進捗状況の

報告と廃棄物減量等推進審議会の委員として、関係の3区長さんと3団体の方に参加をお願いいたしましたところ、市屋区と二河区の区長さんが委員になることに消極的であったため、今後も引き続き就任をお願いするとのことをございました。

那智勝浦道路建設残土の搬入は、土日も続けられておまして、26年度末より早く終了の見込みと建設課より話があったということをございます。

次に、廃棄物減量等推進審議会については、委員10名程度の委嘱のため、各団体に推薦をお願いしているとのことです。

2月6日に第2回国民健康保険運営協議会を開催して、平成26年度予算案を諮問したところ、原案どおりとの答申を受けたということをございます。

次に、福祉施設の実態についてをございます。

南紀園の関係ですが、竣工式が3月16日、議員の皆さんも御出席いただいたと思いますが、午前10時からの開催の予定だということです。工事請負費変更契約を、1月20日に完成期日の変更を、2月27日に請負金額の変更をいたしまして、これにより完成期日は26年2月28日のところ3月28日に、請負金額は6,783万8,400円の増額で合計22億5,708万8,400円となります。本町負担分はこれによって3億3,952万7,000円となる見込みだそうをございます。

次に、南紀園跡地の財産処分についてをございますが、鑑定評価は、更地の価格が1億200万円となっております。建物の解体費に特養分で設計監理委託料132万3,000円、工事費3,306万2,000円を、また養護分に設計監理委託料67万8,000円、工事費1,693万9,000円を平成26年度予算として計上されております。

2月末現在の本町からの入所者数は特養に54名、養護に7名となっております。

下里保育所新築工事の進捗状況をございます。

遊戯室新築工事分については資材調達等により工事がおくれておまして繰り越しとなっております。遊戯室の2月末の進捗率は30%で、完成見込みが5月中旬から5月下旬となる見込みだそうをございます。アスファルト舗装して職員の駐車場と保護者の送迎用の駐車場として予定していた国道に面した土地の一部を芝生化して住民の憩いの場とする変更計画に、下里区からの要望とはいえ、ほとんどの委員からの理解が得られておりませんでした。

次に、介護保険制度の状況についてをございます。

社会福祉法人紀友会が行っております小規模特別養護老人ホームの整備は、資材確保等諸事情により工事がおくれております。平成25年度介護基盤緊急整備等臨時特例補助金整備事業は繰越明許となっております。2月末の進捗状況は11.5%となっており、3月には17.5%を見込んでおまして、完成は7月中旬の見込みで、県の検査等があるので開設は9月ごろになるとのことでありました。

以上をございます。よろしくお願ひします。

○議長（森本隆夫君） 次に、経済常任委員長より報告を求めます。

8番東君。

○経済常任委員長（東 信介君） それでは、経済常任委員会報告を行います。

平成26年3月14日13時30分から委員会を開催し、出席者は委員全員と担当課です。

議件は所管事務調査です。

まず、商工業の振興について。

セーフティーネット認証はセーフティーネット保証5号認証件数が11月から2月まで10件とのことです。

空き店舗活用事業、応募件数申し込みなしですが、商工会を初め各商店街と空き店舗活用についての協議中とのことです。

2月16日、第19回商工祭南の国の雪まつりを開催し3万人以上の来場者があったとのことです。

次に、観光の振興について。

観光動態については、宿泊者数は昨年11月から伊勢の遷宮の関係で好調を維持しています。宿泊は前年度比率9.8%増とのことです。

イベントの概要について。

12月1日、南紀勝浦C級グルメフェア、1,300人の集客があったとのことです。

12月15日、あげいん熊野詣、97名の行列参加者がございました。そして今回はその行列を写真に撮るツアーが名古屋から来られたとのことです。

1月25日、第20回まぐろ祭り、1万3,000人の集客があったとのことです。

3月1日、旅館組合のミニまぐろ祭り、3,000人の集客があったとのことです。

3月1日から3月3日、南紀勝浦まちなかバルが開催されました。

1月11日から1月12日、「町イチ！村イチ！2014」、東京の有楽町の東京国際フォーラムで全国町村会主催のPRイベントで全国342町村が参加し、那智勝浦町からは観光PRとして平安衣装体験コーナーとまぐろCAN販売をさせていただいたとのことです。

2月6日、東京で2014体験・学びの感動の修学旅行セミナーに参加し、旅行会社及び学校関係者を招き、県及び各市町村がPRを実施いたしました。関連で名古屋、大阪などでも修学旅行誘致について回らせていただいているとのことで、名古屋の学校から大雲取越えを企画しているとのことです。

2月7日、東海和歌山県人会懇親会、勝浦漁協の協力により生マグロ解体ショーを披露し、南紀勝浦産マグロをPRしたとのことです。

2月11日、第10回国内観光活性化フォーラムin和歌山、これはビッグホエールで行われました。全国の旅行会社と和歌山県各市町村で開催され1万2,000人の集客をし、フォーラムとあわせて勝浦温泉や世界遺産をめぐるツアーも企画。その中で数百人単位で来町しているとのことです。

2月18日から3月3日まで大阪学院大学硬式野球部の合宿。これは台風水害で他町で開催されていましたが、かなり復興も進んできたとのことで3年ぶりに当町で合宿をしていただいたとのことです。

生マグロ出前解体について、1月分は大阪吹田市の方、2月分は奈良県田原本町の方が当選

されたとのことです。

東京、大阪、名古屋でのPRについて。

12月4日、首都圏旅行エージェント情報交換会がありました。

12月11日から12月13日まで、南紀観光宣伝協議会PR、これは名古屋駅のコンコースで行われました。

1月21日、新聞社訪問マグロPR。これは大阪市内の4新聞社で行いました。

2月15日、第17回京都駅ビル大階段駆け上がり大会でPRさせていただき、当町からも職員が参加したとのことです。

取材等の対応について。

1月23日、毎日新聞社編集委員、生マグロの取材があったとのことです。

1月28日、温泉コーディネーター石井宏子氏の温泉取材があったとのこと。

2月28日から3月1日、南紀観光宣伝協議会誘致会議が開催されたとのこと。

マスメディアでの取り扱い。

1月8日、朝日放送「ナニコレ珍百景」。これは下里水路観測所を取り上げていただいたとのことです。

1月25日、読売テレビ「朝バラ！」でまぐろ祭りを取り上げていただきました。

3月9日、テレビ和歌山「きのくに21」温泉コーディネーター石井宏子氏が来られたそうです。

今後の予定について。

3月21日、22日、ウルトラC級グルメフェスタ in 勝浦。

3月23日、南紀熊野ジオパーク実現に向けたシンポジウム。これは体育文化会館で開かれるとのことです。

3月25日から30日、近畿大学卓球部の合宿。クラブ員数50名が来られるそうです。

3月30日、紀勢自動車道海山ー紀伊長島インター間が開通するとのことです。同日、那智勝浦町まちなかジオツアー勝浦編が開催されるとのこと。

三重交通バス路線について。

名古屋ー勝浦温泉間が名古屋ー新宮駅間に変更されるとのことです。

東京ー勝浦温泉間は年内に国道42号線を通る路線から紀勢自動車道を通る路線に変更になり30分の短縮があるそうです。それで、出発時間が3分おくれるとの報告がありました。

次に、農林業の振興について。

農林業関係で災害復旧事業、3月7日現在、台風12号農地農業用施設災害復旧事業、農地53カ所中44カ所完了、4カ所工事中、5カ所廃工。農業用施設42カ所中28カ所完了、4カ所工事中、10カ所廃工。林道施設災害復旧事業、7カ所完了、1カ所工事中です。平成25年台風18号関係で、林道大戸妙法線路側決壊、これは激甚災害指定で5月中完成予定です。町単独農林水産施設災害復旧事業、林道小匠小森川線の災害復旧工事です。これは5月中完成予定です。

経営所得安定対策事業、申請件数が159件、申請面積が80ヘクタール。7月22日から8月9日が1回目、10月8日から10月11日が2回目の現地調査が行われ、交付金は国から直接農家へ交付されるとのこと。

人・農地プラン作成関係で、各農業集落で農地農業に関する話し合いを行い地域のプランを作成、現在4プラン、下和田、中里・庄、南大居、大野について地区での話し合いを終了し1月に町検討会を実施、全て可決されました。

小規模土地改良事業について、県30%、町35%、地元35%、平成25年度4カ所ございました。

鳥獣害対策関係で、有害鳥獣捕獲実績、鹿465頭、イノシシ203頭、猿54頭、アライグマ11頭です。緊急雇用の防止隊事業で熟練者2名体制の活動中。町内全域の鳥獣害防止活動に従事。2月に市野々地区で捕獲した猿に発信器をつけ、現在追跡調査中とのこと。捕獲実績は、鹿62頭、イノシシ35頭、猿6頭、ハクビシン2頭、アライグマ8頭、アナグマ31頭です。那智勝浦町鳥獣被害対策実施隊の編成、本年度7回実施、現在まで実績、鹿21頭、イノシシ8頭、猿2頭です。

水産業の振興について。

2月1日に那智勝浦町製氷貯氷施設の竣工式が行われました。

マグロの水揚げについて。

マグロはえ縄漁業は1万1,177トン、金額で60億2,435万円、前年度に比べ、数量、金額とも減少しているとのこと。

以上で経済常任委員会の報告を終わります。

○議長（森本隆夫君） 次に、建設常任委員長より報告を求めます。

11番中岩君。

○建設常任委員長（中岩和子君） それでは、建設常任委員会の報告をさせていただきます。

平成26年1月16日、委員会、これは厚生と建設常任委員会が合同で管内視察を行っております。視察先については、先ほど厚生のほうで報告していただいたとおりでございます。出席者は全委員と担当課でございます。

2月18日、委員会、出席者全委員と建設課。

議件、和歌山県土砂災害啓発センターの設置について報告を受けました。

概要といたしましては、過去の土砂災害の記録、資料収集を行うとともに、それを教訓とするための啓発や研修を実施する。和歌山県土砂災害啓発センター（仮称）ですが、これを設置する。詳細は未定だが、平成26年から平成27年夏に完成を目指している。設置趣旨といたしましては、平成23年、紀伊半島大水害では県内各地で大きな被害を受けた。災害記録や防災教育について子供たちの代まで伝えていかなければならないとの要望を受けている。大災害時には、みずから判断しみずから避難しなければならない。このようなときに的確な判断ができるよう啓発をし学習をするとともに、過去の被害を伝承する施設が必要と考えた。場所といたしましては、町内で調整中であり。国との関連といたしまして、土砂災害に関する研究機関

の誘致を行っている。県、国との連携を協議中であると建設課から報告を受けました。

3月14日、委員会、出席者は全委員と担当課です。

議件、所管事務調査、水道事業について。

平成26年度工事予定、上水では天満地内配水管布設替工事、朝日地内配水管布設替工事、旧浜ノ宮配水池解体撤去工事、浜ノ宮・川関地区配水管本復旧工事、二河地内送水管布設替事業。

簡水のほうでは、南大居地内配水管布設替工事、井鹿地内の配水管布設工事であります。

簡易水道統合整備事業は太田川取水・浄水施設築造工事、簡易水道統合整備設計業務委託、簡易水道統合整備事業工事施工監理委託等の工事が予定されております。総額といたしましては、9億4,104万1,000円となっております。太田川浄水場工事は3月18日入札予定であると水道課より報告を受けました。

建設課からは、平成25年11月28日以降の入札関係では17件全て入札済み。平成23年台風12号災害関係では、町発注、国関係46件発注、そのうち42件完成、4件繰り越し。県発注105件発注で90件完成、16件繰り越し。繰越分は26年度完成予定となっております。

砂防堰堤8カ所、本堤全て完了。副堤及び垂直壁が施工中であります。陰陽川につきましては、26年度着工予定であります。

国交省関係、那智勝浦道路川関一市屋間は国体までに通行できる予定となっております。すさみ一串本間は26年度事業化予定。江住一市屋間38キロのうち半分の19キロも事業化の予定である。県道長井古座線整備は施工延長約3.4キロ。県道から1.4キロ、詳細設計を地元が承認。25年度2件用地買収完了などの報告を受けました。

今議会で付託されました議案第40号町道路線変更につきましては、建設課より写真資料を使って、るる説明を受けましたが、町道認定を外す等の議件は今まで事例がないことでもあり、もっと調査する必要があるのではとのことで、次の議会まで継続審査とすることを決しました。

以上で建設常任委員会の報告を終わります。

○議長（森本隆夫君） 以上で常任委員会報告を終わります。

~~~~~ ○ ~~~~~

## 日程第6 委員会所管事務調査継続調査要求

○議長（森本隆夫君） 日程第6、委員会所管事務調査継続調査要求を議題とします。

総務、厚生、経済、建設の各常任委員長及び議会運営委員長から、その所管事務について引き続き調査研究を行う必要があるため、次の定例会まで継続調査の申し出が議長宛てに届いております。

お諮りします。

各委員長からの申し出のとおり、次の定例会までの継続調査とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 異議なしと認め、各委員長からの申し出のとおり、次の定例会までの継続調査とすることに決定しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

日程第7 閉会中の継続調査要求

○議長（森本隆夫君） 日程第7、閉会中の継続調査要求を議題とします。

議会広報編集委員長から、議会広報編集事務について閉会中も引き続き調査を行う必要があるため、次の定例会までの継続調査の申し出が議長宛てに届いております。

お諮りします。

議会広報編集委員長から申し出のとおり、次の定例会までの継続調査とすることに御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 異議なしと認め、議会広報編集委員長から申し出のとおり、次の定例会までの継続調査とすることに決定しました。

~~~~~ ○ ~~~~~

#### 日程第8 議員派遣について

○議長（森本隆夫君） 日程第8、議員派遣についてを議題とします。

お手元に配付のとおり、町内小・中学校の入学式に議員を派遣したいと思います。御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 異議なしと認め、お手元に配付のとおり議員派遣をすることに決定しました。

なお、閉会中において議長及び議員の調査、会議等で必要な出張については議長に委任されたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 異議なしと認め、閉会中において議長及び議員の調査、会議等での必要な出張については議長に委任することに決定しました。

お諮りします。

本定例会の本会議における発言に関し、会議録の調製時にその精査を議長に一任されたいと思いますが、御異議ありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○議長（森本隆夫君） 異議なしと認め、本定例会の本会議における発言に関し、会議録の調製時にその精査を議長に一任することに決定しました。

これで日程は全部終了しました。

会議を閉じます。

平成26年第1回那智勝浦町議会定例会を閉会します。

~~~~~ ○ ~~~~~

10時27分 閉会

~~~~~ ○ ~~~~~

○議長（森本隆夫君） 平成26年第1回定例会が本日をもって予定どおりの日程で終わることができました。議員各位の御協力、当局の御協力、本当にありがとうございました。

今会期は森教育長の就任の挨拶と植地副町長の再任同意により三役が定まりました。よって、新年度の諸事業の施行に当たりまして万全の態勢が整ったことと存じます。元気ある那智勝浦町の再生に向けて総力を結集し、執行に当たって的確な対応とスピードある取り組みをお願い申し上げます。

しかしながら、今月末をもって番外席の総務課長藪本君、福祉課長福居君、消防長中嶋君、病院事務長八木君の4名がその重職を辞することと聞き及んでおります。めいめいにつきましては長年のお勤め、本当に御苦労さまでした。ありがとうございます。今後は悠々自適の生活を送られることと存じますが、これからも在職時と同様の交流を持って相変わらぬ助言と御指導をお寄せいただきますようお願い申し上げます。それとともに、それぞれの地域においてその力量を発揮していただきますよう、あわせてお願い申し上げます。

今定例会には8名の一般質問がありました。その要旨は防災に関する件名が多かったと思います。防災の精神を柱に、人命を大切にということが述べられたと存じます。それらの提言に対して、当局は真摯に受けとめ、町政に反映に向けて検討を加えて自主的に取り組んでいただきますようお願い申し上げます。

気候も、寒さも和らぎめっきり春らしくなっておりまして、各地で桜の開花宣言が報道されております。しかしながら、季節柄、体調に変化があらわれる時期でございます。どうか皆さん、身体に十分気を配りながら、決意を新たにスタートしていただきたいと思います。

簡単ではございますけれども、挨拶とします。ありがとうございました。

副町長植地君。

○副町長（植地篤延君） 議会の閉会に当たりまして、町長に成りかわりまして御挨拶申し上げます。

3月10日に開会いたしました第1回定例会におきまして、議員の皆様には本会議並びに各委員会を通じて慎重な御審議をいただきましたことに心から感謝申し上げます。おかげをもちまして、平成26年度各会計の予算並びに25年度補正予算を初め関係案件を原案どおりそれぞれ御可決いただきましたことを厚く御礼申し上げます。

会期中にいただきました御意見等につきましては十分これを尊重し、よく検討いたしまして今後の町政を運営してまいりたいと思っております。間もなく平成26年度が始まります。さまざまな面で我々にとって厳しい状況が予想されますが、町民本位の行政運営に誠心誠意努めて全力を傾注してまいりたいと思っております。

さて、今月の21日と22日には、ウルトラC級グルメフェスタ in 勝浦が開催されます。海の幸や地域独特の料理のほか、ステージでの催し物など、食を楽しみ、触れ合いを楽しむ2日間です。また、23日にはジオパークフェスタが開催されますので、議員各位におかれまし

てもぜひ御参加賜りたく御案内申し上げます。

厳しかった冬もようやく過ぎ去り、春の訪れを実感しつつあります。季節の変わり目でもありますので、皆様には十分御自愛いただきますよう祈念いたしまして、閉会の御挨拶とさせていただきます。どうもありがとうございました。

上記会議次第は事務局長の記載したものであるが、その内容が正確であることを証するためにここに署名します。

平成 年 月 日

那智勝浦町議会 議長 森 本 隆 夫

那智勝浦町議会副議長 下 崎 弘 通

会議録署名議員 湊 谷 幸 三

会議録署名議員 田 中 幸 子